

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

## 第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 藤井秀香

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/fujii/>

E-mail : [fujii@rid2640g.com](mailto:fujii@rid2640g.com)

会長: 山中喜八郎 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 永富久紀

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

2020年11月13日(金)第1897回

卓話 「タジン」

卓話者 2020年度米山奨学生

タジン ミイン ミイヤ チョー 様

(世話クラブ:松原RC) (母国:ミャンマー)

今週の歌 「我らの生業」

「夕焼け小焼け」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(11月度)

池田茂雄会員(第38回)

### 次回の例会

2020年11月20日(金)第1898回

卓話 「時の流れに身をまかせ」

卓話者 田口 隆 会員

### 前回の例会

2020年11月6日(金)第1896回

卓話 「財団奨学生イタリア留学紀行」

卓話者 元ロータリー財団奨学生

梅林寺 御住職 木下 大朗 様

紹介者 嶽盛 和三 会員

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(11月度)

田口 隆会員 木畑 明子様

○結婚記念祝い(11月度)

宇瀬治夫会員 米澤邦明会員

中田 学会員 塩見 守会員

奥野圭作会員 三上尚嘉会員

<11月6日(金)の出席報告>

会員数	30名
出席会員	20名
欠席会員	10名
ゲスト	2名
ビジター	0名



2020-21年度 国際ロータリーのテーマ

### 「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク (ドイツ・ヘルツォークトウム・ラウエンブルク・メルンRC)

## 11月はロータリー財団月間

### 卓 話

#### 「財団奨学生イタリア留学紀行」

元ロータリー財団奨学生

梅林寺 御住職 木下 大朗 様

紹介者 嶽盛 和三 会員



本日、皆さんの前で、お話をさせていただきます木下大朗です。豊中市の梅林寺という曹洞宗寺院で住職をしております。

まず、最初にこの場で話をする機会をつくっていただいた嶽盛和三会員、そして堺北ロータリークラブ会員の皆さんに、お礼申しあげます。

私は、京都大学大学院文学研究科修士課程で学んでいた昭和62年（1987年）から翌年にかけてロータリー財団の奨学金をいただき、イタリアのトリエステ大学に留学させていただきました。今日は、その時の話をさせていただきたいと思いますが、33年前のことで、記憶があいまいなところが多く、写真等の資料も阪神淡路大震災で半壊したお寺を立て直したときに、倉庫の片隅に直しこんでしまったのか、見つからなかったのか、「イタリアよもやま話」みたいな感じになってしまうかと存じますが、しばらくの間、どうかおつきあいください。

そもそも私が文学部の中のイタリア語学イタリア文学を専攻先に選んだ大学3年生当時、イタリアは、観光で訪れる日本人は年々増加していましたが、テレビなどのマスメディアでとりあげられる回数も少なく、まだまだマイナーな国でした。日本におけるイタリア文学研究の草分け的な存在である京都大学でも、私の学年は、専攻したのが私ひとり、一級上も先輩がひとり、さらにその上は7年間学部生がいない状態（さすがに、大学院には何年かごとに大阪外国語大学など外部の大学から入って来られる方がいらっしゃいましたが）が続いており、先生方も少々危機感を感じておられたみたいです。そんなわけで、生徒の質など二の次でリクルート活動されたところ、単位

取得が簡単という理由でイタリア語の授業をとっていた2回生の私がいまんと釣り上げられた次第です。

さて、専門課程の授業はどれも専門書を読んで訳していく形式で、参加者は3回生の私、4回生の先輩、そして何人かの大学院生で、私ひとり学力が極端に劣っているわけです。ひとつの授業の準備をするのに、単語を片っ端から引きまくって、もちろん文章全体の意味などチンプンカンプンで、5時間も6時間もかけてようやく2ページ分くらいの予習をしていくと、その2ページを院生の先輩方があつという間に訳してしまわれ、その部分ですら分からないのに、そのあとの部分は、もう何が何だかチンプンカンプン、そんな状態がずっと続きました。

過酷な少人数授業で鍛えられ、4回生の時にはイタリアに行き、語学学校に通った結果、無事大学を卒業、大学院に進むことになりました。卒業論文で、ウンベルト・サーバというイタリアの現代詩人をテーマにしたのですが、そのサーバが生涯を送ったトリエステという街で、彼とほぼ同時代に活躍したイタロ・スヴェーヴォという作家を研究の対象に決めました。大学院進学当初から、二人の作家に大きな影響を与えた街で学び、研究を深めたいと考えていたのですが、当時、イタリアに留学するには、2つの奨学金の可能性がありました。ひとつがロータリー財団の出しておられる奨学金、もうひとつはイタリア政府が発給する奨学金です。イタリア限定でいうと後者の方が給付人数が多いので、いただける確率は高くなるのですが、支給額が少なく、それだけでイタリアでの生活を賄うのは難しいというのを耳にしていたので、ロータリー財団の奨学生を目指すことに決めました。

私の地元、豊中市には豊中南ロータリークラブと、豊中北ロータリークラブがあり、私は北部に住んでいるのですが、候補者の枠の関係で、豊中南ロータリークラブから推薦をいただくこととなり、そのあとの面接や試験を受けるチャンスいただきました。筆記試験の中で、次の日本語をイタリア語に訳しなさいという問題があったんですが、その中で「うがった見方をする」という表現がすごく気になり、あとで調べてみたら「物事の本質を捉えた見方をする」という意味だそう

で、自分の思っていた意味と全然違い、「日本語もまともに使いこなせないのに試験に通るわけがない」と、ひどく落ち込んだのを今でも鮮明に覚えています。

ですから、合格の知らせをいただいたときは、天にも昇るような気持でした。そこからは、トリエステ留学へ向けて、いろいろな手続きや準備に追われ、またたく間に時間が過ぎた記憶があります。その中で、豊中南ロータリークラブの例会には何度も出席させていただき、財団奨学生は単に勉強をしに留学先に行くのではなく、クラブ同士さらには地域、国の友好の使者としての使命感をしっかりと持っていなければいけないということを教えていただきました。

さて、今更ですが、私の留学先について、少し説明をさせてください。

イタリアは、地中海につきだした、長靴の形をした国ですが、そのつま先部分にある、シチリア島、その北側のサルデーニャ島も国土の一部です。面積は日本の約4/5、人口は約1/2です。国家が統一されたのは、日本の明治維新とさほど変わらない1861年で、それまで小国に分かれていたので、それぞれの地方でさまざまな方言が話されており、南の人と北の人が各々の方言で会話をすると、まったく通じません。

トリエステは、そんなイタリアの北東にあるフリウリ＝ヴェネツィア・ジュリアという州の州都で、旧ユーゴスラビアとの国境の街です。ユーゴスラビアという国が地図上から消えた今では、スロベニアという国と接しており、海岸線を少し行けば、そこはもうクロアチアです。ローマ帝国時代に起源を持つ街ですが、18、19世紀はオーストリア帝国唯一の港として海運業の拠点となり、繁栄を謳歌します。イタリアに併合されたのは第一次世界大戦後で、その後も、第二次世界大戦末期にドイツに占領され、国連統治下に置かれ、再びイタリアに帰属するのは1954年のことです。

ですから、イタリアでありながら、文化的には、オーストリア帝国の影響を強く受け、独特の発展をとげてきた街です。ゴシック、ルネサンス、バロックなどの様々な建築様式の花開いたやイタリアの主要な街と比べて、かなり異質な雰囲気醸し出す、辺境の都市なのです。

そんなトリエステですが、この街を説明するのに誰もが口にする台詞があります。

「トリエステは風の街です」。冬場を中心に街に吹き込む北東の風、ポーラは風速 50メートルを観測したこともあるそうで、広場にいると立っているのさえやっという強い威力を持っています。トリエステは、神戸に似て、海辺の後ろにすぐに山が控えているので、坂道や階段が多いのですが、いたるところに、手すりを取り付けられています。ポーラに吹き飛ばされてしまわないように。

そんな街で、貴重な留学体験をさせていただいたのは、ひとえにロータリー財団のおかげであり、豊中南ロータリークラブで、私の担当をいただいた森下卓也氏＝能勢電鉄株式会社社長(当時)、トリエステロータリークラブで会長を務めておられたパオロ・アルベルティ氏、両クラブの会員の皆様には本当にお世話になりました。感謝の思いは尽きません。

これからもロータリークラブが若者に夢を与え、国際交流の一翼を担うような人材を育成(私はお役に立つことができませんでしたが)する組織でありつづけることを希求してやみません。また、この堺北ロータリークラブのますますのご繁栄を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。

## 会長の時間

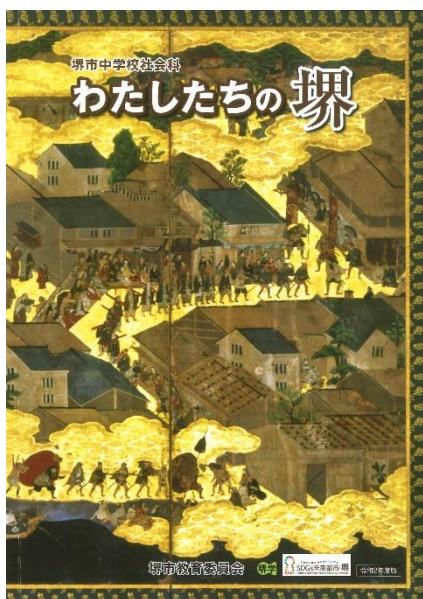
副会長 塩見 守



今日の副会長の時間は、「わたしたちの堺」についてご紹介させていただきます。この本は、堺市教育委員会から発行されていて、堺市の中学生全員に配布されているそうです。しかしながら、高校受験に出題されない事から、授業は一部の学校でしか行われていません。そこで、堺のロータリアンでこの本の普及、そこから堺の歴史と伝統に興味を持っていただく活動ができればと考えています。本の冒頭で「中学生のみなさんへ」として、次のように語りかけています。中学生のみなさんにとって、自



分たちが生活している地域社会をよりよく理解し、身近な地域の将来について考えることは大切な学習です。また、その学習方法は、遠く離れた地域やそこで暮らす人々、さらに広く日本や世界の諸地域について考えるときにも大いに役立ちます。人間は、さまざまな工夫と努力によって今日に至る社会を築いてきました。わたしたちのまち堺にある日本を代表する古墳をはじめ、たくさんの文化財も先人たちの努力によって伝えられてきたものです。港町として古くから発展してきた堺のまちは、16世紀後期には自治的運営がなされた都市で、イエズス会宣教師に「日本のベニス」と呼ばれています。そうした歴史は、市民の誇りであり、地域に対する愛着の源となっています。中学生のみなさんには、次世代の担い手として歴史と伝統に根差した都市文化を継承し、さらに発展させるべく、自ら学び、創造していく力を身につけることが期待されます。すべての人が健康で生きがいを感じ、安心して暮らせる社会、一人ひとりが思いやりをもって助け合える社会など、より豊かな市民生活の実現に向けて、みなさんそれぞれが役割を果たせるようになることが待望されます。地域社会の一員であるみなさんの将来にわたる学習に役立つようにと願いを込めて本書を作成しました。中学校3年間の社会科学習のみならず、あらゆる学習の場で有効に活用されることを期待しています。



↑近日中に皆さんにも配布する予定です

## 委員会報告

### 親睦活動委員会

#### 「例会変更及び忘年家族例会のご案内」

親睦活動委員長 澤井 久和



さて、忘年家族例会のご案内は下記の通りです。

未だコロナウイルス収束の見通しが見えない状況ではありますが、感染予防を心がけながら開催いたしたく、皆様ご家族お誘いあわせの上、たくさんのご参加をお待ちしております。

記

開催日時	12月19日(土)
場 所	シェラトン都ホテル大阪 3F 明日香の間
受 付	17:00～
開 会	17:30～
会 費	会員及びファミリー会員 12,000円 ご家族 10,000円 中学生 8,000円 小学生以下は無料



\*尚、12月18日(金)の例会は、上記忘年家族例会へ変更いたします。

\*出欠締切日:12月4日(金)例会時まで事務局までお知らせください。



## SAA報告

那須宗弘会員 木下大朗様ようこそお越しくださいました。本日の卓話楽しみにしています。

田口 隆会員 お誕生日プレゼントありがとうございます。入会させていただいて5年目になります。71才になりました。

永富久紀会員 木下様イタリアのお話楽しみにしています。

嶽盛和三会員 本日は木下大朗様、卓話宜しくお願いたします。

中田 学会員 結婚記念お祝いありがとうございます。今年で45周年です。

澤井久和会員 少しいい事がありました。大学生の時の同級生のところに第一子が誕生しました。成人式の時には喜寿になります。とにかくうれしいです！！もう一つ、昨日ゴルフ、なんとハーフだけで70！

塩見 守会員 木下様、本日の卓話よろしくお願います。

藤永 誉会員 またTVの予定が…

合計24,000円

#### ◆米山奨学特別寄付

…米澤邦明会員・嶽盛和三会員

## 幹事報告

### (1) 配布物

- ・週報
- ・2021-2022年度 理事・役員 (選考案)

## その他

### 第5回定例理事会

2020-21年度理事会構成メンバー

山中、中川、塩見、藤永、池田、澤井、城岡、池永、宇瀬、木畑、中田、綿谷 (会計監事：坂田)

日時 2020年11月6日(金) 例会後

場所 天兆閣別館4F「ローズ」 会議室

議案

1. 10月度 8RC連絡会について 一報告
2. 新入会員候補者の件 一承認
3. 那須宗弘会員 出席免除願の件 一承認
4. 堺市展表彰式(11月28日土曜13時~14時 フェニーチェ堺3F) 堺8RC代表 出席担当の件 一承認
5. 2021-2022年度理事役員の件(別紙) 一承認
6. 親睦活動委員会「忘年家族例会」プログラム(案)について 一承認
7. 40周年記念誌 目次案について 一承認



## 8RC連絡会

10月度 堺8RC 新旧合同連絡会議事録

日時：2020年10月27日(火) 16:30~

場所：サンパレス3F

### 議案1. 仁徳天皇陵案内板の件

堺市文化観光局 課長 北口氏より説明があり、看板の老朽化、世界遺産登録により案内分の訂正箇所費用などの説明があった。

☆全員一致の採決で仁徳天皇陵案内看板改修工事を進めることとなった。

次回8RC連絡会ホスト 堺清陵RCさんが集金方法などについて、とりまとめていただくことになった。

看板下のロータリークラブの部分は交換が必要なのか、再度確認してもらおう。

### 議案2. ロータリーの広報活動について

前回、記者クラブなどに声掛けして記事などにしてもらえないのか等の情報があったが、上手く取り上げてもらえなかった様子。

今後は2640地区のいくつかのクラブで活動支援中の、タイ ノンケームRCを通じたノンケーム地区の小中学行への浄水器の寄付活動や、堺学検定への支援など、8クラブ共通の課題として取り組む等、単発ではなく長期的で大きな課題を検討する必要があるのではないかと。

### <案内> 堺学検定について

堺ユネスコ協会 事務局長 花澤氏より説明があった。

まずは我々RC会員が堺検定を例会等で受けて、愛すべき堺の歴史を熟知して行くことが大事ではないかと議論があった。各クラブでは例会開催のスケジュールを調整し、堺ユネスコ協会 花澤氏にコンタクトを取っていただくと検定をしていただける。

費用は、テキスト込み1名500円。積極的なご対応を期待するものである。

### 次回連絡会

開催日時：令和2年11月19日(木)

午後4時00分

場所：ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺

ホスト：堺清陵ロータリークラブ

## ロータリー財団は、 皆さまからのご寄付を世界各地 での奉仕活動に役立てています

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

### ロータリー財団の使命

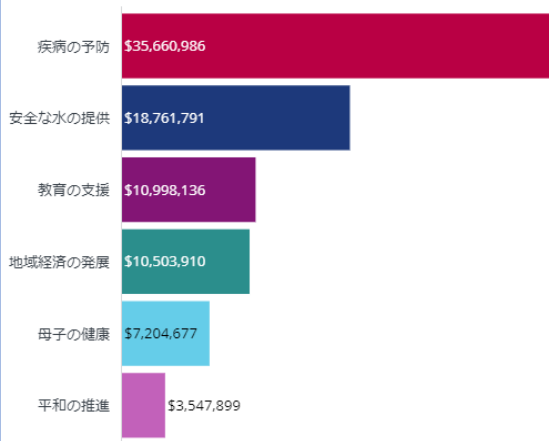
ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

### ご寄付が世界にもたらす影響

- ★わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます
- ★50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます
- ★500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます

## ロータリー財団の補助金

2018会計年度、ロータリー財団は1,306口、合計86,677,399ドルの補助金を授与しました。以下は分野の内訳です。



<https://www.rotary.org> より



11月度 会員・奥様誕生お祝い  
代表 木畑 清 会員



11月度 結婚記念お祝い  
代表 中田 学 会員



11月度 米山奨学金支給  
米山奨学生 陳 敏彪 様

### 今週の歌 「夕焼け小焼け」

夕焼け小焼けで日が暮れて  
山のお寺の鐘がなる  
おてつないでみなかえろう  
からすといっしょにかえりましょ

子供がかえたあとからは  
まるい大きなお月さま  
小鳥が夢を見るころは  
空にはきらきら金の星

